怒濤精神Ⅱ

沖縄県立糸満高等学校
令和６年２月９日(金)
発行者　校長　金　城　栄　一
第１９号

出前講座Ⅱ

１月９日（火）琉球大学アドミッションセンターの山田恭子准教授を講師に招き、大学進学支援講座を開催しました。はじめに「なぜ大学に行くのか？」　次に「入試の基礎について」話して頂きました。

まず、なぜ大学に行くのかについては、「専門知識の獲得」「職業機会の拡大」「人間関係の構築」「自己成長」と話していました。見える世界を広げて将来をデザインするため、悩んでいる人、やりたいことがはっきりしない人こそ大学に行った方がいいと話していました。

また、世の中には学問も職業も信じられないくらいたくさんある。どうやって「将来の一部＝進路」を選べばいいのか？　という生徒の疑問には、「一生じゃないけど、４年間くらいならつきあえるかも」「嫌いじゃない、嫌じゃない」位の基準で学部等を選んでもいいと話していました。そして、「絶対無理」「どう頑張っても興味が持てない」という嫌なものを避けた後の選択肢から選ぶという基準もあると話していました。

また、将来から逆算する方法もあると話していました。野球界で活躍する大谷翔平選手が高校生の時に使っていたマンダラートも逆算の考え方だと思います。

山田准教授自身、高校時代にやりたいことが見つからない中で、当時心理学が流行っていたこと、人になら興味が持てることに気づいたことをきっかけに進路選択を行い、現在の職で楽しく勤めていると話していました。

生徒の活躍

バスケット

小橋川寛杯争奪高校生バスケットボール選手権大会

男子　１回戦　vs 宮古工業（76-66）
　　２回戦　vs 球陽（77-63）
　　３回戦　vs 沖縄水産（39-74）
女子　１回戦　vs 小禄（42-104）

ソフトテニス

全沖縄高校選手権大会

準々決勝　古屋・金城　vs 名護（1-4）
　　玉城・宮里　vs 名護（4-0）
　　仲里・瀬名波　vs 名護（1-4）
準決勝　玉城・宮里　vs 名護（4-3）
決勝　玉城・宮里　vs 名護（3-4）**準優勝**

バドミントン

那覇南部地区高等学校バドミントン新人ダブルス大会

男子
準々決勝　福元・照屋　vs 豊見城（2-0）
　　小笹・長田　vs 那覇西（2-0）
　　小波津・伊敷　vs 糸満（奥平・眞喜志）（2-0）
準決勝　小笹・長田　vs 知念（2-0）
　　小波津・伊敷　vs 福元・照屋（2-0）
決勝　小笹・長田　vs 小波津・伊敷（2-0）**優勝・準優勝**

女子
準々決勝　長嶺・新垣　vs 沖縄水産（2-0）
　　比嘉・伊敷　vs 那覇（2-0）
　　金城・玉城　vs 糸満（仲宗根・宮西）（2-0）
準決勝　長嶺・新垣　vs 比嘉・伊敷（2-0）
　　金城・玉城　vs 豊見城（2-0）
決勝　長嶺・新垣　vs 金城・玉城（2-0）**優勝・準優勝**

※男女ともにベスト４に３ペアーが残る

ウェイトリフティング

全九州高校重量挙げ

男子 55kg 級　仲村渠４位　160kg（71kg、89kg）

地雷対策を通した平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり

話した内容

1. カンボジアの歴史
2. カンボジアと戦争
3. 負の遺産
   - 地雷と不発弾
   - 住む場所の破壊
   - 多くの人が亡くなった
4. 平和をつくる活動
   - ＣＭＡＣの取り組みについて

１月 31 日（水）標記事業により、カンボジアから４人の研修員が本校を訪問し、プレゼンテーションを行ってくれました。

カンボジア地雷対策センター（ＣＭＡＣ）が作ろうとしている「博物館」について、また、沖縄県の協力内容などを高校生に発表し、国際理解や国際協力について相互理解を促進できればという趣旨で行われました。

今回は、１年と２年の各１クラスの参加となりましたが、多くの生徒に聞いて欲しい内容でした。今回の研修員の話を聞いて、生徒の進路選択にも繋がったのではないか。

この事業の背景と必要性について

カンボジア地雷対策センター（ＣＭＡＣ）は長年にわたり過去の戦争や紛争により埋設された地雷や不発弾の除去活動を行い、地域住民に安全な土地を取り戻している。ＣＭＡＣはカンボジア内外に地雷除去活動を通して平和の大切さを伝える博物館を設立しているが、学芸業務のノウハウを知る職員がおらずメッセージが伝わりにくい施設となっている。ＣＭＡＣから沖縄県平和記念資料館のような平和を希求する心を伝える「平和博物館」にしたいというニーズがあり、過去にカンボジアのトゥール・スレン虐殺博物館で職員の人材育成を経験した沖縄県が博物館を運営する職員に学芸業務のノウハウを伝える事業を実施する。